

## 輸出倍増サポート事業

<未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち(市場拡大)海外市場開拓>

【806(840)百万円】

### 対策のポイント

農林漁業者等が実施する農林水産物・食品の輸出拡大の取組について、総合的にサポートします。

また、輸出を支援する様々な事業者等の取組をサポートすることによって、農林漁業者等の輸出拡大を支えていきます。

### <背景/課題>

・米、畜産物等の農林水産物・食品の輸出の拡大を行うことは、生産量の増加等を通じて農林漁業者等の所得増大や経営の発展に資するものであり、産地の活性化にも寄与するものです。

・このような中、「新成長戦略」において、平成29年までに農林水産物等の輸出額1兆円水準を目指すことが位置づけられ、政府としてもより一層の取組強化が必要とされたところです。

・このため、今後、農林水産物・食品の輸出の拡大を図るため、輸出に関心を有する生産者・生産者団体を始め、流通業者、物流業者等の輸出を支援する事業者の具体的な取組をサポートします。

### 政策目標

農林水産物・食品の輸出額を平成29年までに1兆円水準とする。

### <主な内容>

#### 1. 輸出取組のサポート

農林水産物・食品について明確な輸出目標を設定し、次の①～⑧までの事業メニューから必要とするメニューを選択して戦略的に輸出拡大を行う取組をサポートします。

①次世代技術者・輸出担当者育成、②海外市場開拓調査、③産地PR・国内商談会、④海外試験輸送、⑤輸出条件への対応等、⑥海外販売促進活動、⑦海外ニーズ製品の試作・実証、⑧輸出プロモーターの活用

#### 2. 輸出支援事業のサポート

##### (1) 課題解決対策

輸出に取り組む産地や事業者等が直面している課題について関係者の知見・経験を活かした調査・研究を行って、解決策を特定し、その解決策を実践に向け広く普及・活用する事業者の取組をサポートします。

##### (2) 品種保護に向けたDNA品種識別技術確立対策

海外への輸出を図る農産物の品種保護を図る以下の取組をサポートします。

① 農産物の品種をDNAレベルで識別する技術(DNA品種識別技術)の開発。

② 開発したDNA品種識別技術について、税関、(独)種苗管理センター

等で広く利用可能とするための開発技術の妥当性の確認。

(3) 販売拠点構築事業

日本産農林水産物・食品の商流が未発達な新興市場において、その美味しさ・品質の高さ等を現地需用者に対して継続的にアピールし、販路拡大を図るため、販売拠点を設置して支援する取組をサポートします。

(4) マッチング対策

① 日本産農林水産物・食品の海外向け商流拡大のため、輸出志向のある農林漁業者等と現地需用者（輸入業者、卸売業者、小売業者等）とのマッチングの場（商談会）を海外において開催し、現地市場への販売促進を支援する事業者の取組をサポートします。

② 輸出に意欲のある国内の生産者、食品事業者等に、海外の外食事業者団体が主催する商談会（業者間取引の場）等に出展させることにより、具体的なビジネスにつなげる取組をサポートします。

(5) 海外外食事業者向け日本産食材輸出促進対策

海外の外食事業者等による日本産食材の共同調達を進めるため、国内の生産者等と連携して、調達コストの削減のための食材ロットのとりまとめ、鮮度維持のための効率的な物流ルートの選定を行う取組等をサポートします。

<事業実施主体>

民間団体等

<事業実施期間>

平成23年度から平成25年度まで

<補助率>

- ・ 1及び2の(2)の① 1/2以内
- ・ 上記以外 定額

担当課

- ・ 1、2の(1)、(3)、(4)の①: 大臣官房国際部貿易関税チーム輸出促進室 電話03-3502-3408
- ・ 2の(2): 生産局知的財産課 電話03-6744-2118
- ・ 2の(4)の②、(5): 総合食料局食品産業振興課外食産業室 電話03-3502-8267

# 輸出倍増プロジェクト事業 (1,229,424千円)

## 輸出倍増リード事業 (423,343千円)

### 輸出チャレンジ促進事業

- 輸出は国内出荷以上に多くのハードル
- 農林漁業者にとって海外市場について知見、経験は乏しい

ウチの作物も輸出できるの？



どうしたら輸出できるの？

輸出のメリットは？

輸出のパートナーはどうやって探すの？

- このため、国内各地における情報提供のセミナー、商談会等の実施により、農林漁業者が輸出への第一歩を踏み出すチャレンジを支援

国内における輸出実践者の創出

### 国別戦略的マーケティング事業

#### 国別輸出戦略マーケティングの強化

主要な輸出先国及び今後輸出が伸びると思われる国等におけるマーケティングの強化

#### ジャパンパビリオン設置

ジャパンパビリオンを出展し商談会を開催。フォローアップを一体的に行い商談の成約を支援

#### 官民合同ミッションの派遣等

取引先候補との情報交換、商品特性の把握ができる機会を創出

日本産農林水産物等の商流の構築と効果的な普及の推進

## 輸出倍増サポート事業 (806,081千円)

### 輸出取組のサポート

#### 輸出に関する総合支援

①次世代技術者・輸出担当者育成

②海外市場開拓調査

③産地PR・国内商談会

④海外試験輸送

⑤輸出環境整備

⑥海外での販売促進活動

⑦海外ニーズ製品の試作・実証

⑧輸出プロモーターの活用

### 輸出支援事業のサポート

#### 産地支援に向けて

##### 課題解決対策

(例) 現地系卸を通じた新規商流の開拓

品種保護に向けたDNA品種識別技術確立対策

輸出農産物の権利侵害対策

#### 市場開拓に向けて

##### 販売拠点構築

新興市場への販売拠点の設置

##### マッチング対策

海外での現地需用者とのマッチング

海外外食事業者向け日本産食材輸出促進対策

日本産食材の共同調達による輸出拡大

農林漁業者等の輸出拡大をサポート